

総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】令和5年9月5日（火）

質問 順位	質問者	質問事項
1 2	塩田 耕太郎	<p>1 港湾（里港、長浜港）機能の充実について</p> <p>(1) 静穏度を保つための対策について伺う。</p> <p>(2) 将来を見据えた港湾計画について伺う。</p> <p>(3) ヨットハーバーの整備について伺う。</p> <p>2 甑島の滞在型観光の促進について</p> <p>(1) 現状の課題は</p> <p>(2) 島内の地域資源の活用と情報発信、受入体制について伺う。</p> <p>3 第3次薩摩川内市総合計画における甑島エリアビジョンについて</p> <p>(1) エリアビジョンの内容は</p> <p>(2) 広聴会（Vトーク）で出された意見は</p> <p>(3) 5年後に目指すべき姿は</p> <p>(4) 実現に向けた取組方針は</p>
1 3	落口 久光	<p>1 本市の冠水対策について、過去の質問へのこれまでの対応状況は</p> <p>(1) 永田排水機場の改善状況を確認する。</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 過去の答弁にあった、設備更新・自動運転化の検討状況を確認する。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 今後の対応を確認する。</p> <p>(2) 中郷地区銀杏木川周辺の冠水に対して確認する。</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 銀杏木川と肥薩おれんじ鉄道の交差部の未改修部分が大きな要因との答弁だったが、未改修部分の詳細と進捗状況について確認する。</p> <p style="padding-left: 20px;">イ その他の要因はないのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 総合的な対策を練り直す必要はないか。</p> <p>2 都市計画道路隈之城高城線の残工事計画再始動を受けて、今後のビジョンを確認する。</p> <p>(1) 大まかな工事計画はどうなりそうか。</p> <p>(2) 国分寺の遺跡部分の施工はどうなるのか。</p> <p>(3) 国道267号からの入り口の部分については、先に整備できないのか。</p> <p>(4) 最終点と既存道路との接合はどう考えているか。</p> <p>(5) (4)から派生する課題は何か。</p> <p>3 中心市街地振興と交通事情について、考えを問う。</p> <p>(1) 川内駅に着いてもタクシーがつかまらなると苦情を聞くが、どう捉えるか。</p> <p>(2) 上川内地区の開発が進み、中心市街地との差が開いてきているように見えるが、打開策はあるのか。</p> <p>(3) 国道3号の川内駅・上川内間を路面電車のようなもので単線で往復運行することで人流をつくり、中心市街地再編をしていくべきだと思うが、考えを伺う。</p>
1 4	井上 勝博	<p>1 福島第一原発事故による放射能汚染水（アルプス処理水）の海洋放出について</p> <p>(1) 薩摩川内市の水産業への影響はないか。</p> <p>(2) 汚染水の海洋放出をやめるよう国・東電に意見すべきではないか。</p>

	<p>2 川内原発の火災防護対象ケーブルの不備について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新規制基準とは何か。 (2) 「設計及び工事の方法の認可（設工認）」とは何か。 (3) 火災防護基準と新規制基準の関係は (4) 「火災防護対象ケーブルの系統分離対策」とは何か。 (5) 岸田総理は、「高い独立性を有する原子力規制委員会が厳格な安全審査を行い、規制基準への適合性が確認できなければ運転は一切認められない」と国会で答弁している。市長は同じ立場か。 (6) 川内原発1、2号機の火災防護対象ケーブルについて、新規制基準が求めている工事をされていなかったことが分かったのはいつか。市長はどう思ったか。 (7) 新規制基準が求める系統分離対策がされていない電線管の物量はいくらか。 (8) 過去にも新規制基準が求めている工事をしていなかったことがあるか。 (9) 新規制基準どおりに工事をしていないことについて、九州電力は謝罪をしていない。九州電力は、市民に謝罪と説明を行うべきと思わないか。 (10) 6月定例会の一般質問では「基準を満たさない行為」と答弁された。「川内原子力発電所に関する安全協定書」にある「関係法令等の遵守等」に該当しないか。 (11) 火災防護対象ケーブル工事の使用前検査はいつ、何回行われているのか。 (12) 使用前検査は、誰がどのように行っているのか。 (13) 九州電力は、設工認どおりの系統分離工事をいつまでに行うのか明らかにしていない。このことを市はどう考えるか。 (14) 九州電力は、ホームページの「コミュニケーションの意義、あり方に関するもの」で「face to faceの対話を継続させていくことが重要」と書いている。この件に関しては、市民に説明しようという姿勢がない。市長はどう思うか。 <p>3 学校事務職員の部活動顧問手当について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「教諭が顧問をして練習や試合に行く場合は手当が付くが、学校事務職員は手当が一切付かない」、「遠くの試合会場まで行ってもガソリン代も出ない」という苦情がある。不公平ではないか。 (2) 市の回答では「休日の部活動の地域移行に向けて取り組んでいる。学校事務職員も外部指導者としての対応が可能か検討している」とあるが、検討の結果は出ているか。 (3) 回答で「学校事務職員の対応については、県下統一的な扱いとなるよう」とあるが、「県下統一的な扱い」は望ましいことではあるが、薩摩川内市で独自に始めることができないのはなぜか。 <p>4 国保税を引き下げるため、県の基金62億円を活用するよう求めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国保税の引下げを行うために、県の財政安定化基金の62億円で国保事業費納付金を減らすよう他市とも連携し、県と協議できないか。 <p>5 太陽光発電の出力制御について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合運動公園の太陽光発電の代理制御調整金で266万円が減収となっているが、どう思うか。 (2) 一般の10kW以上500kW未満の太陽光発電事業者が大きく減収し困っている。再生可能エネルギーを優先して使うなどの優先給電ルールの見直しを国に求められないか。
--	--